

【本日】

\*本日は婦人会例会があります。良き学びの時に致しましょう。

2026 年 2 月 15 日(日)降誕節第 8 主日(典礼色：白)

【報告】

\*献金報告 月定献金 (内田牧師)

2 月 8 日の礼拝献金は、13,000 円でした。

【予告】

2 月 18 日 (水) 灰の水曜日 レント 内田牧師：青森眼科検診  
19 日 (木) 聖書研究祈祷会 「ペトロの手紙Ⅱに聴く」(遠藤勝信)を読む  
26 回目「しみや傷のない者として」そのⅡ (Ⅱペトロ 3 章 14～15 節)  
20 日 (金) 友の会 10～14 時  
22 日 (日) 主日礼拝

【先週の礼拝・祈祷会報告】

集 会 名	月 日	計
主日礼拝	2 月 1 日	13
教会学校	2 月 1 日	2
聖書研究祈祷会	2 月 5 日	3

礼拝出席者の内訳 (信徒：7, 他教会：3, 求道者：0, 他：0, 子供：2, 牧師：1)

【次週の礼拝予告】

2 月 22 日 (日) 受難節第 1 主日  
〔司 式〕 高橋みち子姉〔奏楽〕 中村笄子姉〔献金・受付〕 笹森修一兄  
〔聖 書〕 マタイによる福音書 5 章 27～30 節  
〔説 教〕 「心を神様に向ける」 内田光生牧師  
〔詩 編〕 詩編 83 編 1～5 節  
〔讃美歌〕 18、294「ひとよ、汝が罪の」、504「主よ、み手もて」、88

# 週 報

第 46 号



2025 年度年間主題聖句

「霊もまた同じように、弱い私たちを助けてくださいます。私たちはどう祈るべきかを  
知りませんが、霊自らが、言葉に表せない呻きをもって執り成してくださるからです。」  
(ローマの信徒への手紙 8 章 26 節)

## 2 月 祈りと奉仕の課題

\*信仰を言葉と行いで告白する  
\*一人暮らしの方、求道者、教会と関係のある方を覚えて  
\*平和の実現  
\*信徒のご家族が礼拝に招かれますように  
\*新来者が与えられますように  
\*地区・教区・全国の教会のために  
\*東日本大震災・福島原発事故被災者と被災教会のために  
\*教会員の健康が守られますように

第 7 期奥羽教区長期宣教基本方針 (2024～2033 年)

主題「主と共に沖へ漕ぎ出そう」

聖句「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなさい」(ルカ 5：4)

創立 1912 年 4 月 1 日 (114 年目)

た な ぶ  
日本基督教団 **田名部教会**

### 【礼拝・集会】

礼 拝 毎週日曜日午前 10 時 30 分  
祈 祷 会 毎週木曜日午前 10 時 30 分  
教会学校 毎週日曜日午前 9 時  
連絡先

〒035-0072 青森県むつ市金谷 1 丁目 17-24

電 話：0175-22-2903 FAX:0175-22-2947

牧 師 内田 光生

携帯 090-2568-8577 メール:umitsu@gmail.com

# 礼 拝 順 序

司式：笹森修一兄  
奏楽：中村箏子姉

前 奏	(黙 祷)
招きの詞	詩編 100 編 (このページの下に掲載されています)
※讃 美 歌	18 番「心を高くあげよ」
※交読詩編	詩 82 編 1～8 節
※主の祈り	(右のページに掲載されています)
祈 祷	司式者
※讃 美 歌	395 番「建ちては崩るる」
聖 書	マタイによる福音書 5 章 21～26 節
	聖書協会共同訳新約聖書 p. 7
説 教	「和解のすすめ」 内田光生牧師
祈 祷	
※讃 美 歌	20 番「主に向かってよろこび歌おう」
信仰告白	使徒信条
献 金	感謝と献身のしるし 藤田律姉
※讃 美 歌	88 番「心に愛を」
※祝祷・派遣	
後 奏	
報 告	
①年間主題聖句暗唱	
②讃美歌練習	294 「ひとよ、汝が罪の」
③礼拝に來られない方を覚えての祈り	
④週報にそって	

み言葉を聴く (ルカによる福音書 12 章 35 節～)

※ご起立下さい。ご起立に差しさわりのある方は着席のままで構いません。

**招きの詞** 全地よ、主に向かって喜びの声を上げよ。喜びながら主に仕えよ。／喜び歌い  
つつその前に進み出よ。主こそ神と知れ。／主が私たちを造られた。私たちは主のもの。  
／主の民、その牧場の羊。感謝して主の門に進み／賛美しつつ主の庭に入れ。／主に感謝  
し、その名をほめたたえよ。主は恵み深く、主の慈しみはとこしえに。／そのまことは  
代々に及ぶ。

**主の祈り** 天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を來た  
らせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も  
与えたまえ。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我ら  
をこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。国とちからと榮えとは限りなくなんじの  
ものなればなり。アーメン。

**使徒信条** 我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、  
イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリアより生まれ、ポンテオ・  
ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目  
に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまへり、かしこ  
より來りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の  
教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の命を信ず。アーメン。

## 今月の祈り

次の方々と教会・伝道所・団体を覚えて、祈りましょう。

大室悦郎氏・大賀勝範兄

七戸教会 輪島教会 七尾教会

## 祈り続ける課題

- \*高橋マヨさん、内田加代子さん、品田均さん、地花明莉ちゃん。
- \*自然災害で被災された方と被災教会のために
- \*教会学校に子どもたちが集まりますように
- \*難民となり、苦しい生活をしている人たちのために
- \*平和な世界が訪れますように

## レントと灰の水曜日の意味

レントは、イエス様が十字架にかかれる前の 40 日間を覚え、心を静めて過  
ごす大切な期間です。自分の信仰生活をふり返り、祈りや節制、隣人愛の行いを  
心がけます。日曜日は「主の復活を祝う日」としてレントの日に数えません。そ  
のため、暦の上では灰の水曜日から復活祭の前日まで 46 日ありますが、日曜日 6  
回を除くと 40 日になります。

灰の水曜日は、そのレントの始まりの日です。この日、教会（主にカトリック  
教会）では額に灰で十字を描いてもらい、「人は土から生まれ、土に帰る」こと  
を思い出します。命の尊さと神様への感謝を新たにします。

(文責：内田光生)